

ひろめるゾウ NEWS

平成25年12月3日 №.3
菊陽町立武蔵ヶ丘北小学校 研究部 ひろめるゾウ班



「歯と口の健康教育 授業研究」

先日はお忙しい中、学習発表会に多数来ていただきありがとうございました。発表の中で、健康委員会が各学年で学んだことを分かりやすく、映像でクイズ形式にして発表しました。では、授業でどのようなことを学習したのか紹介します。

3年1組「よくかむといいこといっぱい」(10月7日)

咀嚼力判定ガムというのがあるんです。まず、そのガムを子どもたちにかんでもらって、かむ力に応じて色が変わることを体感してもらいました。次に、柔らかくゆでたジャガイモと固ゆでのじゃがいもを比べて、かむと柔らかくなり、胃腸の負担が減り、栄養の吸収がよいことの説明を聞きました。最後に、自分が「よくかんで食べるためできること」を一つ選んで(自己決定して)実践につなげていくことにしました。家庭でもぜひ、意識できるよう「30回かもう。」と声をかけてみて下さい！



5年2組「健康な歯や歯肉をつくる仕事」(10月9日)



5年生は、歯によい食べ物と悪い食べ物の仲間分けからスタートし、10日前に酢につけた卵の殻(歯の成分に近い)がぶよぶよになっているのを見ました。子どもたちは体にいいはずの酢が歯を溶かす事実にびっくり！！では、どうしたら歯が溶けるのを防ぐことができるのかを考え、歯に良い食べ物でも、食後すぐに歯を磨き、良くかんで唾液と混ぜることが大切だと学びました。

6年2組「めざせ8020」(11月6日)



80才までに20本の歯を残そうという8020運動。今自分にできることは何かを、口の中の環境、食生活、定期検診の3観点から自分の生活を振り返って考えました。学習発表会でも紹介されましたが、なんといっても清永先生の104才のおじいさまがバリバリせんべいをかまれる姿に、歯みがきに気をつけて自分の歯が残っていると、あんなに元気でいられるんだと「論より証拠」で実感できたことでした。